**【第一三共】**

・なぜ第一三共の研究職を志望したのか、その理由をご記入ください(200文字以内)

「がんの治療を促進し、患者さんの生活の質を高める」という思いを実現するためです。私は大学院で抗がん作用を示す天然物の人工合成に関する研究をしてきた経験を活かし、がんの広がりの抑制に役立つ薬の開発に取り組みたいと考えています。その中でも、特にADC技術という強みを持ち、先進的なグローバル創薬企業である貴社に魅力を感じ、貴社でなら多くの患者さんの治療に貢献できる研究ができると信じ、志望しました。

・「第一三共株式会社」の一員として新たに「挑戦」したいことを、これまでの経験を踏まえて具体的にご記入ください。(300~500文字)

「第一三共株式会社」の一員として、私は「がんの研究開発を加速化できる存在になること」に挑戦したいです。そう考えた理由は、これまで大学院で抗がん剤開発の研究に取り組んできた経験にあります。難易度が高く、サンプル数が多い状況の中で、私は2人の研究室のメンバーとともに、合理的な実験計画を立てた上で、各自の専門知識や長所を発揮することで研究成果を出してきました。このようなチームでの研究活動の経験を活かし、貴社で専門分野やバックグランドが異なる研究者の方をはじめ、様々な方を巻き込み、各自が持つ知見を持ち合わせることで、より効率的な新薬開発に貢献したいと考えます。上記のように、私は「一刻も早く患者さんに新しい薬を届けたい」という貴社の強い思いに共感し、がんの新薬開発を加速化できる存在になりたいです。

・1分間動画の原稿

Q.現在行っている研究領域において、将来挑戦したい研究テーマを1分間で説明してください。

A. ○○です。私の将来挑戦したい研究テーマは、薬物の毒性を最小限に抑えた全般的な新たな治療アプローチの開発です。その理由は、現在使用されている肺腺がんに対する特効薬は、細胞増殖シグナル伝達を阻害することで、がん細胞の増殖を抑制できますが、変異によって耐性を獲得した肺腺がんには効果がないということが問題点となっています。その点に対し、大学院では、別のシグナル伝達機能を阻害することで、がん細胞の増殖を抑制し、新たな抗がん剤薬の開発に取り組んできました。将来として、全般的な新たな治療アプローチに取り組みたいと同時に、薬物の毒性を最小限に抑え、患者さんの副作用を軽減したいと考えています。(59秒)